

第 83 回 新潟大学経営協議会 議事概要

- 1 日 時 平成 29 年 6 月 15 日 (木) 12 時 57 分～14 時 20 分
- 2 場 所 新潟大学駅南キャンパス ときめいと 講義室 A
- 3 出席者 10 名 (高橋学長, 濱口委員, 大浦委員, 高橋均委員, 高比良委員, 小田委員, 石委員, 高橋道映委員, 敦井委員, 三輪委員,)
(ほか田代監事, 逸見監事がオブザーバー出席)

4 議事概要について

第 82 回の経営協議会議事概要が確認された。

5 審議事項

(1) 平成 28 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

平成 28 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について審議が行われ, 文言等の修正は学長に一任することとし, 承認された。

[主な意見及び質疑等 ○: 学外委員の発言, ■: 本学側の発言]

○・女性管理職の割合が 15.4%に達しているというのは高い水準であると考えているが, 政府は 2020 年までに 30%とすることを目標としている。新潟大学はこれを達成できそうか。それが難しいようであれば, 実際にはどの程度の割合を目標としているか。

■・20%くらいには到達させたい。

■・2020 年までに 30%というのは難しい。当面は現状の割合を維持することに努めたい。なお, 事務系職員については女性比率が高まっているため, 10 年程度を目途に管理職を務めることができる人材を育成していきたい。

(2) 平成 28 事業年度決算について

平成 28 事業年度決算について審議が行われ, 原案のとおり承認された。

なお, 審議に当たり, 小田理事より資料の誤りについて説明があり, 資料 2-1 の 3 ページ 19 行目の「864 百万円」が「1,216 百万円」に訂正された。

また, 議長から, 本件については, 役員会の議を経て文部科学省宛てに提出する旨発言があった。

[主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言， ■：本学側の発言]

○・短期運用として定期預金を多く利用しているが、なんらかの意図があつてのことか。

■・金融機関に金額と運用期間を示した上で入札を行い、最も有利な利回りであつたものが定期預金であつたため、定期預金により運用したものである。

○・学長裁量経費の執行残が多いが、これは予算配分の査定を厳しくしたことによるものか。

■・学長裁量経費は6年間の中期計画期間内であれば、文部科学大臣の承認を受けずに繰越ができる予算である。平成28年度は第3期中期計画初年度であるため、予算を配分された各部局において不急の執行が抑制され、執行残が生じたものと考えられる。

・反対に、中期計画最終年度は執行残の繰越に制限があるため、第2期中期計画最終年度の平成27年度もそうであつたが、できるだけ残額を残さないように予算を執行しようとするインセンティブが働く。

■・学長裁量経費を貯め込むつもりは全くない。配分した部局には単年度ではなく6年間で計画的な執行を進めてもらいたいと考えている。また、より多くを配分したいが、現実としては難しい。

(3) 「国立大学法人新潟大学の将来展開に向けた機能強化基本戦略」について

「国立大学法人新潟大学の将来展開に向けた機能強化基本戦略」について審議が行われ、文言等の修正は学長に一任することとし、承認された。

(4) 平成30年度概算要求について

平成30年度概算要求について審議が行われ、文言等の修正は学長に一任することとし、承認された。

[審議事項(3)(4)に係る主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言， ■：本学側の発言]

○・前提の確認であるが、ロードマップには平成34年度分までが記載されているが、機能強化基本戦略と概算要求に関しては毎年度このような手続きを踏むこととなるのか。

■・学外の方には、このような仕組みが煩雑な印象を与えていると思われ、文部科学省が大学の裁量に委ねる範囲を増やしたほうが良いのではないかという意見は理

解できる。しかし、マイナス評価を受けた点は改善しなければならないということと、改善することによりプラスの評価を受けるチャンスを与えられるということから、ある程度の煩雑さを伴うこのような仕組みであるのはやむを得ないと考えている。

- ・文部科学省が財務省に対して運営費交付金の予算額に見合った成果が生まれていることを説明する必要があるということも、このような仕組みとなっている一因であると考ええる。

(5) 経営協議会から選出する国立大学法人新潟大学学長選考会議委員について

議長から、大崎仁委員から経営協議会委員の辞任の申し出があり、平成29年6月30日付けで退任となる旨の報告がされた。大崎委員は、経営協議会の学外委員の中から選出された学長選考会議の委員でもあることから、後任の学長選考会議の委員の選出について審議が行われ、三輪正明経営協議会委員が選出された。

※意見・質問なし。

5 報告事項

(1) 平成30年度施設整備費補助金要求事業について

小田理事から、平成30年度施設整備費補助金要求事業について、報告があった。

※意見・質問なし。

(2) 第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について

濱口理事から、第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について、報告があった。

※意見・質問なし。